

平成29年度PTA指導者人権教育研修会

- ・日 時：平成29年7月13日13時～16時
- ・場 所：グリーンヒルズ津山リージョンセンター
- ・参加人数：165名



ぽっちり！モグモグ生活リズム向上
マスコットキャラクター

行政説明

「人権教育の推進にむけて」

岡山県教育庁人権教育課

総括主幹

きむら まき
木村真樹

〇いじめの防止に向けて

- ・PTA人権教育研修プログラム
- ・親育ち応援学習プログラム
- ・人権啓発DVD作品 等の活用

〇保護者による子どもの見守りのポイント

- ・からだの調子・表情や態度・持ち物の様子・就寝の様子
等にいつもと違う様子はないか。



行政説明の様子

啓発映画視聴 意見交流

「気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ1」

「そんなの気にしないー同和問題ー」

【映画の内容】

私たちが普段何気なく使う言葉や態度の中には、相手を傷つけるものがあるかもしれない。そして、壁を越えるのもまた、相手を信じる力だということを伝えてくれる作品。

【意見交流】

映画の感想や日常生活の中で感じた人権に関する小さな疑問や気づきについて、交流しました。



意見交流の様子

※人権啓発ビデオ及びDVD作品は、岡山県生涯学習センターで貸し出しを行っています。ぜひご利用ください。

【貸出無料、宅配便等の送料は利用者負担（貸出時は送料着払）】

講演

「子どもたちの高齢者に対する人権意識を育てるために

～若年性アルツハイマー病の妻の介護を通して～」

かなや みなみ のぶたか
金谷天満宮宮司・（元）萩市教育長 陽 信孝 氏

・怒りには限界があるが、優しさには限界がない

認知症、若年性アルツハイマー病等の方の介護には、症状を正しく理解することが必要。高齢者の気持ちに寄り添い、その方が生きてきた歴史を尊重して、優しく明るい働きかけをすることが大切。それには、家族や地域の理解と協力が大きな力になる。

・家庭の中で、子どもの心を育てる

幼少時代のうちに、善悪の判断や道徳的な考え方、社会のルールなど、子どもの成長に必要なことを家庭で教えることが重要。



講演の様子

参加者の感想

- ・啓発映画の感想等の交流では、普段考えたり、話をしない内容が交流でき、学習が深まった。
- ・家族が協力して介護した様子や大人の姿を見て子どもに優しさの心が育ったことに感動した。